

K S K Q

エヌピーオー

NPOちゅうぶ 通信

つうしん

ねん がつごう
2026年8月号



By.Ayu

おにごっこ チラシ
相模原事件から 10年、優生思想を許さない
スタジアムの公正運用の要望書を提出
青葉園の見学に行きました
建築プロジェクトの当事者参画の推進を
優生政策の被害者はだれか？
ナビゲーション

日中活動連絡会交流 ぐっすら作業所
鈴木勇希プレゼンツ～ランチ企画
今村ケーゴの楽しいランチタイム
木戸道雄の部屋 ～8月号～
NPOちゅうぶ 求人
協力会費 カンパ
編集後記

なんば

《謎解き×冒険×バリアフリー》ウォークラリー

おにごっこ



2026

バリア・ほった〜と秘密のトイレ



2026

10/10 (土)

10:30-16:30

カーニバルモールに集合!

(なんばパークス1階)

おにごっこ
ですが...
走りません!



どなたさまも
ご参加可能!

バリアフリーな なんばのまちが危ない!
魔法界の闇の帝王はバリアフリーが嫌いだ。
みんなが大好きななんばを守るため
バリア・ほった〜が立ち上がった。
でも相手は強力だ。なんばに隠されたポイントを探し、ミッションをクリアせよ!
そして、最後の決戦の場所

リバープレイス地下に向かうのだ!!

参加費:500円(介護者無料) 子ども(小中高)200円

わたしも
待ってるで!
たこ焼き
食べたい〜



主催: なんばおにごっこ実行委員会 連絡先: Tel: 06-4703-3740 Fax: 06-6628-0271 (NPO法人ちゅうぶ)

共催: 千日前商店街振興組合 / 障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議 (障大連)

後援: 道頓堀商店会 / 心斎橋筋商店街振興組合 / 戎橋筋商店街振興組合 / 宗右衛門町商店街振興組合 / 千日前道具屋筋商店街振興組合 / 道頓堀商店街振興組合 / 大阪市中央区商店会連合組合 / 難波センター街商店街振興組合

※※※ バリア・ほった〜となんばを守ろう！ ※※※

なんばには魔界への入口がいくつもある。

地下街連絡エレベーターの奥に隠れたボタンがあるらしい。

「バリア・ほった〜」は人間との共生とバリアフリーな世界、

インクルーシブな世界を大切に。特にごちゃまぜな大阪なんばが大好きだ。

お好み焼き、たこ焼きも大好物。

一方、魔界の帝王「ホルデ・もっと」はバリアフリーと人間が大嫌いだ。

なんばのまちにはエレベーターや

バリアフリートイレもたくさんあるが、ちょっと

隠れている。マップも見ながらミッションをクリアし、

おにスタッフの待つポイントも通過しよう。

最後にバリア・ほった〜とホルデ・もっとが闘う

決戦の場リバープレイスに

集まろう！

特典2

なんば名物

たこ焼き、お好み焼き、串カツ
ラーメンやお土産を
商店街から提供して
もらっています。



〜特典1〜

なんば

バリアフリーマップ

障害者が中心になって調べた
マップ。車椅子の方も利用可能な
オススメのお店も紹介！

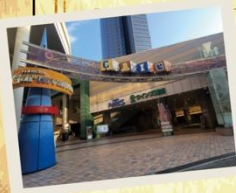
トイレマップも
あります！



なんばの魔界への最初の入口
カーニバルモール。どこだ？
と思ってる人も多いじゃろ。実は簡単。
なんば広場から高島屋1階に入る。
南海電車改札階の3階に上がるエリ
ベーター・エスカレーター・階段が
あるが、その左横をまっすぐ進むだけ。
一度、建物を出て、横断歩道を渡った
ところじゃ。勇気ある参加を待って
おるぞ！

ダンボール・ドア校長より

※行き方の動画、写真は
ちゅうぶHPにアップ
します。



〜ゴール〜

決戦の地
リバープレイス
(なんば Hatch 地下)



千日前商店街

道頓堀から千日前通に続く
活気あるアーケード街
お好み焼きやラーメンなど
の老舗グルメが充実！



法善寺横丁
静かなななな情緒を
漂わせている
水掛不動尊が有名



オタロード

日本橋のメインストリート
漫画、アニメ・ゲーム
フィギュアの聖地。

〜スタート〜

なんばパークス
(カーニバルモール)



参加方法

なんばおにごっこ特設サイトからお申し込みください。
できるだけチームでご参加ください。(4人程度推奨。1名からでも参加可能)
NPOちゅうぶに電話、メールも可能です。

企画内容

チームに別れてウォークラリーに出発します。
なんばパークスや日本橋オタロードなど新旧さまざまな表情の街を
めぐります。千日前商店街にあるミッションポイントをクリアしたあとは
なんば Hatch 地下で行われるラストイベントに集まろう！

お問合せ

NPO法人ちゅうぶ

電話：06-4703-3740 FAX：06-6628-0271
メール：chubu@npochubu.com



NPOちゅうぶ法人
HP：https://npochubu.com/
なんばおにごっこ特設サイト
開設準備中！

さがみはらじけん
相模原事件から 10年…

ゆうせいし そう ゆる ち い き しゃかい
優生思想を許さず、地域から「インクルーシブ社会」をともにつくろう



「津久井やまゆり園」での凄惨な事件から、今年で 10年が経ちました。去る 7月22日、主催4団体(DPI日本会議、全国自立生活センター協議会、ピープルファーストジャパン、DPI女性障害者ネットワーク)が共同し、「津久井やまゆり園の犠牲者を追悼し、インクルーシブ社会を自指す会」を参議院議員会館で開催しました。さらに、「優生思想をなくそう!」「地域で暮らそう!」「インクルーシブ教育を進めよう!」と、力強くアピールしながら、東京駅まで行進しました。

当日は酷暑にも関わらず全国各地から 300名の仲間が集い、被害に遭われた方々への追悼の想いを馳せるとともに、優生思想を許さず、脱施設・インクルーシブ教育の取り組みへの決意を新たにしました。

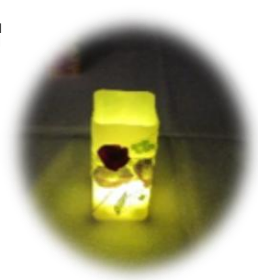
(文責:尾上 浩二)

きぼう ぜつぼう おんめ ききかん
■希望から絶望へ、そして 10年目の危機感

この事件の報道に、最初に接した時の「身もだえする恐怖」を今も忘れることはできません。幼少期の施設生活で、就寝時にベッドに体を縛り付けられていた自身の記憶と重なり、被害に遭われた方々の恐怖が人ごととは思えなかったのです。

2016年は障害者差別解消法が施行され、「やっとここまで来た」と祝福パレードが各地で開催されました。しかしわずか 3 カ月後に事件が起き、「いくら頑張っても社会なんて変わりっこないんだ」とつきつけられ、障害者運動を全否定されたような気持ちに襲われました。あらためて捉え直すと、社会にはびこる優生思想の土壌や、障害のある人を分け隔ててきた国の施策は根本のところでは変わっていないのです。

事件から 10年を経た今、この事件に関する「風化」と「矮小化」への危機感はより増すばかりです。社会は依然としてこの事件を「特異な人物による猟奇的事件」と片付けようとし、犠牲者がどんな人生を歩み、どんな思いで生きていたのかという「声」は置き去りにされたままです。



ゆうせいし そう はくく ぶん りしやかい ぶん りきやういく
■優生思想を育む「分離社会・分離教育」

事件直後の取り調べで、犯人は「障害者は不幸しかつからない。社会からいなくなればいい」と言いました。その歪んだ障害者観は、社会的な背景を伴ったものです。「不良な子孫の出生防止」を掲げた優生保護法に象徴される、いのちに優劣をつける優生思想を広く容認してきた日本社会の土壌から生じたものです。2024年に最高裁は「優生保護法を制定当時から違憲」と断罪しましたが、その土壌は今も根強く残っています。

その根本には、子どもの頃から障害の有無で分ける「分離教育」があります。社会の大半が分離教育で育ち、対等に出会う機会を奪われているため、勝手なイメージだけで障害者を捉えてしまうのです。「分離と排除は地続き」です。

■「脱施設」と「インクルーシブ教育」という本丸へ

同時に、なぜいまだに多くの仲間が入所施設や精神科病院に取り残されているのか。この現実を変え切れなかった運動のあり方を、私たちは痛烈に受け止めなければなりません。

国連・障害者権利委員会の勧告通り、「脱施設」と「インクルーシブ教育」への大転換こそ運動の「本丸」です。

インクルーシブな社会は、上から自線の「思いやり(パターナリズム)」でできるものではありません。どんなに重い障害があっても、当たり前前に地域で暮らせる状況をつくること。事件で大怪我を負わされた尾野一矢さんが、事件後、施設を出て地域で暮らしている様子が集会でも報告されました。重度訪問介護等も活用し、地域で生き抜く「実例」を泥臭くつくり、示し続けることこそが、優生思想への最も強力な対抗手段です。



今後も全国の仲間と手を携え、ちゅうぶとしても、この地域から当たり前前に共に生きる日常をつくり出すことで、集会アピールを現実へと変えていきたいと思います。

「相模原障害者殺傷事件から10年」集会アピール

2016年7月26日、神奈川県相模原市の障害者入所施設「津久井やまゆり園」で、19名の尊いのが奪われ、27名が深く傷つけられるという凄惨な事件から、まもなく10年を迎える。私たちは本日ここに集い、犠牲となられた方々に心からの哀悼の意を捧げるとともに、傷つけられた方々に深く心を寄せる。

事件を起こした元職員は、「障害者は不幸をつくりだす存在であり、社会からいなくなればいい」と主張した。この言葉は、私たち障害者の存在を根底から否定し排除する「優生思想」そのものであり、強い恐怖を突きつけた。しかし事件から10年が経った現在、社会はこの事件を「特異な人物による特異な事件」として矮小化し忘れ去ろうとしている。亡くなった19人の方々がどんな人生を歩み、どんな思いで生きていたのかという「声」は置き去りにされたままである。私たちは、この風化に大きな危機感を抱かざるを得ない。

私たちは、事件を生み出した社会のあり方に真正面から向き合わなければならない。なぜ、160人もの人たちが地域で必要な支援を受けられず、施設での集団生活を余儀なくされていたのか。その背景には、戦後の歴史の中でつくられてきた「分離社会」と、社会からの排除への無自覚さが根底にある。

同時に、これまでの障害者運動において地域移行を訴え続けてきたものの、未だに多くの人が入所施設や精神科病院などに取り残されている現状に対し、私たちの運動自体が十分に組み合わせてこなかったことを課題として受け止めなければならない。

今後、どんなに重い障害があっても地域で共に生き抜いていく想いを私たち一人ひとりが持ち、行動していく。施設や病院でなく、また家族介護を前提とせず当たり前前に地域で暮らせる社会＝「脱施設」への転換に向け、全力を挙げて取り組んでいく。

さらに、差別意識が生まれる土壌を根本から変える必要がある。現在の社会の大半の人が、子どもの頃から障害の有無で分ける「分離教育」で育っている。分離教育からの転換無しにはインクルーシブな社会は実現できない。障害によって分け隔てられることなく、多様な子どもたちが地域の通常学級で共に学び育つ、「インクルーシブ教育」の実現が不可欠である。

2022年、国連の障害者権利条約に関する総括所見において、日本社会に広がる優生思想や能力主義が事件を招いたとして、包括的な検証が求められた。同時に、「脱施設」と「インクルーシブ教育」の実現が緊急の課題であると強く勧告されている。私たちはこの勧告を重く受け止め、まさに事件を受けて取り組むべき「本丸」である脱施設とインクルーシブ教育の推進に向けて、協働を進め力を合わせていくことを決意する。

私たちが目指す社会は、障害を理由に分け隔てられることなく、どんな人も等しくかけがえのない存在として認められ、共に生きる社会である。いのちの価値に優劣はない。2024年に優生保護法を憲法違反とする最高裁判決が下された。しかし、戦後から長きにわたり、優生保護法によって、国は強制不妊手術など人生にわたる多大な被害を生み出し、優生思想を社会に根づかせた。私たちは、国による重大な人権侵害であった優生保護法を厳しく批判し、優生思想を蔓延させてきた歴史の深い反省に立ち、社会構造の根本的な大転換を求める。

犠牲者を追悼し、優生思想を絶対に許さず、脱施設とインクルーシブ教育を推進し、すべての人が希望と尊厳をもって暮らせるインクルーシブ社会を実現するため、私たちはこれからも声を上げ、行動し続けることをここに宣言する。

2026年7月22日 相模原障害者殺傷事件から10年

津久井やまゆり園の犠牲者を追悼し、インクルーシブ社会を自指す会 参加者一同



スタジアムの公正運営の要望書を提出

2月のヤンマースタジアムで開催されたJリーグ開幕戦での車椅子席を制限して販売されたことを踏まえて、今後、大阪市の公の施設であるハナサカスタジアム(球技場)やヤンマースタジアム(陸上競技場)で差別的な運用がなされないように公正な利用を確保するためのガイドラインを作してほしいと大阪市に要望書を提出しました。

いずれのスタジアムも車椅子席は圧倒的に少ないです。

(ハナサカスタジアム 36席/25000席中 0.14%)

(ヤンマースタジアム 80席/50000席中 0.16%)

※ヤンマースタジアムは300席以上車椅子席があるとしていますが、サイトラインが確保されているのは80席に限られています。) バリアフリーの環境改善も引き続き求めていきます。



2026年7月7日

大阪市長官公署 局長 様

ハナサカスタジアム指定管理者 様

ヤンマースタジアム指定管理者 様

特定非営利活動法人 ちゅうぶ
代表理事 尾上浩二

大阪市長居球技場等の公正な運営に関する要望書

(略)

今年2月7日のJリーグ開幕戦において、車椅子席の販売が制限されるということがありました。

この件についてのみならず、車椅子席の販売が物理的な席数より制限されるということによく遭遇します。

車椅子利用者は、一般の席では観戦できませんので、障害者の観戦の機会を確保するために、バリアフリー法では0.5%の車椅子席を設置することが義務付けられています。ハナサカスタジアムでの車椅子席は36席程度しか車椅子席が確保されていません。また、ヤンマースタジアムでは、ホームページ上では、スタジアムの全方位に車椅子席があるというは座席案内図がありますが、実際に試合が見える席は、メインスタンドとバックスタンドのそれぞれ40席、計80席にしかすぎません。いずれのスタジアムについても、0.5%という基準には程遠く足りないというのが現状です。

こういう現実であるにも関わらず、サッカーをはじめ、様々な球技の試合において、販売が制限されることによって、障害者の共にスポーツを楽しむことができる機会が大きく損なわれています。

ハナサカスタジアム(長居球技場)、ヤンマースタジアム長居(長居陸上競技場)は大阪市の条例で定める公の施設であり、公正・平等な利用が担保されるべき性格のものであります。

その施設の性格を踏まえるならば、興行主が車椅子席を販売したくなくても構わないということではなく、公の施設において、関係法令を遵守し、差別がない運営を行うことをスタジアムにおいて興行を行うものの責務と明確化することが必要だと考えます。

上記の認識に立って、以下の点について、ご検討いただきますようお願いいたします。

記

1. 大阪市の公の施設であるスタジアムについて、障害者も平等に楽しむことができるように、運営のガイドラインを作成してください。

策定にあたっては、Jリーグや障害者団体の意見を聴いてください。

2. サイトラインが確保された車椅子席を増やすように、大阪市としても予算を確保し努力してください。

①ハナサカスタジアムについては、バックスタンドにしか席がなく、選択幅があまりにも一般に比べて制限されています。一般席を一部可動式にして新たに席を作るなど検討してください。

②ヤンマースタジアムは図面上にある車椅子席のほとんどが通路部に面しており、サイトランが確保されていません。サイトラインが確保されるようにバリアフリー改修をお願いします。

※ヤンマースタジアムのWEBの座席案内において、「サイトラインが確保されていない」席を車椅子席として同列に表記するのはやめてください。コンサートなどで、見えない席と理解されずに案内されることがあります。

3. 車椅子席の環境の整備、バリアフリートイレの拡充・改善や、売店などのアメニティ設備へのアプローチの改善など、障害者が共に楽しめる環境の改善に努めてください。

①ハナサカスタジアムのバックスタンド車椅子席周辺では、アルミ製の床面等からの照り返しにより、夏季には非常に高温となり、長時間の観戦が困難となる場合があります。床材や遮熱対策など観戦環境の改善をお願いします。

②ハナサカスタジアム・ヤンマースタジアムともに、車椅子利用者が一般来場者とできる限り同じように施設を利用し、観戦を楽しめるよう、必要以上に迂回や利用制限を受けることのないよう移動動線について配慮してください。

③ハナサカスタジアムのバックスタンド車椅子席から利用できる売店が限られていて、アクセスルートがわかりにくいです。利用しやすく改善するとともに、メインスタンドの売店も利用できるようにしてください。

④JFA主催試合では、バックスタンド 1階コンコースが通行止めとなり、車椅子利用者がバリアフリートイレへ移動する際に迂回しなければならない状況がありました。バリアフリートイレへの移動に支障が生じないよう通行規制の運用を見直してください。

⑤ハナサカスタジアムのバックスタンド 2階車椅子席には、利用できるバリアフリートイレが 1 か所しかありません。そのため、混雑時には利用しづらい状況があります。バリアフリートイレの増設をお願いします。

⑥ヤンマースタジアムでは、車椅子席付近のバリアフリートイレが一般利用者の利用により、本来バリアフリートイレを必要とする方が利用しにくい場面が見受けられます。バリアフリートイレを必要とする方が優先して利用できるよう、案内表示や場内アナウンス等による周知・啓発をお願いします。

⑦ハナサカスタジアムのバックスタンド 2階車椅子席は、他から離れていて人の目が届きません。利用者が安心して観戦できるよう、スタッフによる巡回や見守り体制を検討いただくようお願いします。

⑧車椅子席の環境整備や運営方法については、実際に利用する障害当事者や障害者団体との継続的な意見交換の機会を設け、利用実態を踏まえた改善に努めてください。

あおばえん けんがく い 青葉園の見学に行きました

あかにのきしはらしほです。5月27日(水)「青葉園」見学の報告をさせていただきます。

●青葉園は兵庫県西宮市の医療的ケアも必要な重い障害のある人たちの地域活動拠点(通所施設)です。現在48名の方が利用されており、1日35名ぐらいの方が通所されているそうです。一人暮らしをされている方も何人かおられて、市営住宅や民間賃貸住宅、グループホームや実家から通われている方もいました。

●午前中は個別的な活動、午後は3つのグループに分かれてグループ活動。音楽療法も週に3日あり、ピアノの演奏に合わせて歌ったり、ハンドベルの演奏をしているそうです。

●部屋の中では、車いすから降りてクッションチェアというひとりがけの椅子に座っている人が多かったです。よくそう予防のためです。またベッドに寝るよりも目線が合いやすいところがいいと職員さんが言われていました。

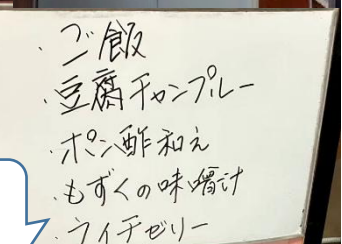
●移乗に使うリフトが館内にたくさんありました。天井のレールを走るタイプと、手で押して移動できるタイプがありました。



●昼食は厨房で手作りしていて、刻み食やペースト食・注入食など個別に応じた食事形態も作っているところが、みんなと一緒にのご飯を食われて良いなと思いました。

食形態	常食					
	普通	一口	粗刻み	極刻み	ソフト食	ミキサートロミ
写真						
形態の特徴	-	2cm角	5mm角	1mm	ゼリー状	ペースト状
喫食者の特徴	・咀嚼、嚥下に問題がない方	・箸が苦手ですpoonで食べる方 ・掻き込みや丸呑みがみられる方	・咀嚼に問題がある方 ・掻き込みや丸呑みがみられる方	・咀嚼、嚥下に問題があり刻みサイズでは大きい方(段階的に使用)	・咀嚼、嚥下に問題がある方 ・舌と口蓋間で押し潰すことが出来る方	・咀嚼、嚥下に問題がある方 ・舌と口蓋間で押し潰すことが難しい方

(イメージ図) 食事形態の例：写真は他の障害者施設のものです。



この日のお昼ご飯です！

●トイレ介助をするスペースに、床の中にトイレがうめこまれていて、寝た姿勢のままトイレができるようになっていてにびっくりしました。使わない時は、その上にマットを敷いてオムツ交換をする場所として使えるようになっていました。(イメージ写真➡)



～ここからは青おに眞野響が報告します！～

青葉園に通いながら 24時間介助者を入れた自立生活をされている先間さんのご自宅も訪問させていただきました。



●俺も自立を自指す当事者として、いろんな工夫をしている先輩の家を見に行かせてもらえたのはとても勉強になりました。玄関は、思っていたよりも小さくて、通れるかな？と思いましたが、大きな段差は無かったので入れて良かったです。自分の家を探す時は、玄関の幅や、段差など確認するところが多いなと思いました。もし段差があったりしても、スロープなどを工夫して自分の家を作っていけたら良いなと思いました。



●俺からの質問は「何かを選ぶ時はヘルパーに8割決めて貰っているが、自分で決めたい気持ちもある。その調整はどうしていますか？」と1番悩んでいることを聞かせてもらいました。先間さんは、「今でも選ぶのになれていない。泣く時もある。でも頑張って決めたことで楽しい事もたくさんできた。」と答えてくれました。その通りだと思いました。自分で決めていくのは不安で失敗が怖いけど、自分で決められることは決めて行こうと思いました。



●他にも、ヘルパー同士が情報を確認しやすい引継ぎ表や移乗用のリフトなど、暮らしの工夫が色々ありました。自分の暮らしを上げていけるのは本当にすごいなと思いました。それと同時に苦労して自分で決めてきたから、今の生活があるんだと思いました。まだ今は自分で決める事はしたくないし、苦手だけど、出来るところからやっていこうと思います。いや、やっていきます！！

●終わりに岸原から…今回の見学は私の支援学校の後輩でもある眞野さんと一緒に行きました。行く前に考えていた質問に、当日はたくさん答えてくれました。ためになることを聞くことができて良かったです。案内してくれた粟生さん、お宅を紹介してくれた先間さん、ヘルパーの渡部さん、ありがとうございました。

けんちく とうじしやさんかく すいしん めざ 建築プロジェクトの当事者参画の推進を目指す

とうじしや ゆーでい いん とよなか TOJISHA-UD プラットフォームセミナー in 豊中

こくごうしょう こうきょうけんちくぶつ とうじしやさんかく もくひょうせってい 国交省が公共建築物への当事者参画を目標設定

こくごうしょうは 5年ごとに改訂するバリアフリー法の整備方針において「建築工事における当事者参画の割合を原則として100%とする」ことを 2030年までに達成するという目標を設定し、「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」を 2025年に発出しました。

7月26日(金)、当事者参画の推進を目指す、活動をしているプラットフォーム主催でセミナーが開催されました。プラットフォームでは、①当事者、設計者、行政等への当事者参画相談事業、②当事者参画の意義と進め方を理解するセミナーなどの人材育成事業、③各地の好事例を収集し、知見や経験を発信するナレッジ発信事業の展開が目指されています。

とうじしや せつけいしや じちたい たちば さいせんたん じれい 当事者、設計者、自治体の立場から最先端の事例が

セミナーでは、まず、関西地区の当事者参画の取組報告として、地元豊中市、大阪府を初め、兵庫県、D P Iから報告があり国交省のガイドライン担当の解説がありました。

シンポジウムでは、石塚 裕子さん(追手門学院大学)のMCで、当事者として視覚障害者、聴覚障害者、豊中市の地元障害者、事業者・設計者として関西国際空港の担当、兵庫県建築士会、地方公共団体として富田林市、堺市、明石市、討論MCとして菅原 麻衣子(東京科学大学)さん、コメンテーターとして室崎千重(奈良女子大学)さん、当事者として六條友聡さんが発言され、多様な立場から最先端の事例と問題意識が語られとても充実していました。

なに しやうへき とうじしや とうじしやさんかく 何が障壁なのかは当事者がよくわかっている 当事者参加のしくみづくりを！

法律・条例やガイドラインの基準を守っても使い易いユニバーサルなものにはなりません。基本構想の街歩きをしていても、なぜ、創る時に意見を聴いてくれなかったのか、歯がゆい思いをたくさんしてきました。万博のユニバーサルデザインワークショップに当事者参画ができたことは本当に良かったと思いますが、今後は、日常の建築プロジェクトにおいて、多様な当事者が建築事業者、設計者、行政と一緒に検討する場(仕組み)をぜひ実現してほしいと思います。今回、様々な立場のお話が聞けてとても参考になりました。また、豊中市のバリアフリー化システムを推進協議会において機能させている取り組みはすばらしいと思いました。

(文責:堀)

「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」とは

国土交通省

建築設計標準の別冊として「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」を新たに策定し、当事者参画の効果や基本原則、企画・実施方法、留意事項等について記述。

○当事者参画とは

- 当事者とは、高齢者、障害者等を含む全ての施設利用者を指す。
- 当事者参画とは、建築プロジェクトのプロセスにおいて、当事者が意見表明すること、当事者間で意見交換すること、ワークショップ等に参加すること等を通じて、施設の整備・運営の完成度を高めることに関与することである。



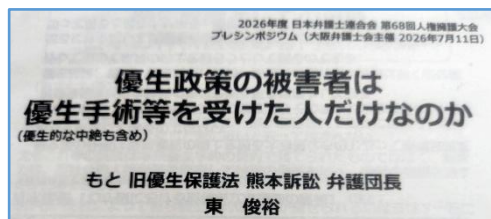
優生政策の被害者はだれか～今も続く被害者を見つめて

にちべんれんじんけんようごたいかい 日弁連人権擁護大会フレシンポジウム

7月11日大阪弁護士会館で優生保護法問題をテーマに開催されたシンポに参加しました。

1. 大阪弁護士会からの大阪の優生保護法違憲訴訟の取り組み報告(辻川弁護士、小川弁護士)、2. 原告(仮名 野村夫妻、加山夫妻)からのお話、3. 隔離収容政策の被害者のお話(仮名 星さん)、4. 基調講演(東俊裕 弁護士)、5. これからに向けて(東 弁護士、山口弁護士、辻川弁護士)という充実した内容でした。

特に、東 弁護士の基調講演「優生政策の被害者は優生手術等を受けた人だけなのか」はとても考えさせられるものがありました。



断種(不妊手術)は優生政策の一部

精神科医であり、厚生省官僚であった青木延春は、「優生課の仕事は断種法の制定を目指すだけでなく、精神異常者(ママ)、中毒者の発生予防を主眼とし、優良健康な次世代の国民を作ること目標としているとして、優生結婚、隔離、保護治療、去勢、断種その他有効な手段はことごとく実施して素質の向上を図ろうとしている」と記しています。その他、当時の専門家の認識の紹介がありました。

そして、1960年代優生手術件数が減少に転じた頃、精神薄弱者福祉法が制定され、全国的なコロニー網の整備が行われ、精神衛生法の改正、精神病床の増加、院内、施設内での男女の性的な分離が強化されていたそうです。これは、「優生手術から隔離による優生政策へ」転換を表しているのではないかというお話でした。

施設内での性的分離によるリプロダクティブ・ライツに対する侵害

優生保護法問題の最高裁判決は、身体的侵襲を受けない権利を認め強制不妊手術被害者の被害を救済したが、子どもを産む権利、リプロダクティブ・ライツに言及しておらず、地裁・高裁で主張されていたリプロダクティブ・ライツを採用しない理由も述べていないと指摘されました。

入院、入所によって、①婚姻適齢年齢を含む一般社会からの長期隔離、②施設内での時間帯や空間による性的分離、③スタッフによる性的行動の監視、抑制がなされ、性を有する者として、関係を取り結ぶ機会を奪われ、子どもを産む自由やリプロダクティブ・ライツが侵害されることを正面から見据える必要がある、被害者は膨大であると述べられました。

長期隔離による優生政策被害に目を向けるべき

リプロダクティブ・ライツの侵害を独自の人権侵害として位置付ける認識が欠如していたのではない、運動団体の中でも隔離の問題だけを問題としていたが、結婚できなかったこと、子どもを持てなかったことも問題にすべきだったのでないか、長期隔離による優生政策にもっと目を向けるべきでないと問題提起がありました。

声を上げられない現実をどう変えるのか

さらに、性的存在であることの否定は全人格を否定されるのと同じ被害。結婚したかったと被害を訴えられない現実をどう変えるのかも、弁護士の役割であるとメッセージを寄せられ、とても心強く感じました。

優生政策の課題に向き合い、脱施設、インクルーシブ社会を作りたいと思いました。(文責:堀)



ナビゲーション

じりつ みち あん ない
自立への道案内



にほんじりつせいかつ おおやぶみつとし
日本自立生活センターの大藪光俊さんにインタビューさせていただきました。

もくじ

- じりつせいかつ ほうもん
● 自立生活センターを訪問しました！ 2
- みせしょうかい
● おすすめのお店紹介します！ 6
- へんしゅうこうき
● 編集後記 8

自立生活センターを訪問しました！

～～～日本自立生活センター（J C I L） 大藪光俊さんにインタビュー～～～

こんにちは。自立生活センター・ナビの鶴羽です。今回は、京都市で活動されている日本自立生活センター（以下：J C I L）の大藪光俊さんに就業支援制度の使いやすさや使いにくさなどを中心にお話を伺いました。

プロフィール

名前：大藪 光俊
年齢：32歳

障害名：脊髄性筋萎縮症（SMA）
趣味：映画鑑賞



○就業支援制度のことをお聞きする前に、少し大藪さんのことを教えてください。まず、障害名を教えてください。

脊髄性筋萎縮症（SMA）という先天性の障害です。ずっと車いす生活です。

○一人暮らしして何年目ですか？

6年が経ちました。大学の頃に、実は半年間一人暮らしをしたんです。その頃はまだ、自立生活センターのことも何も知らずに一人暮らしをしていました。J C I Lに出会ったのも6年前です。

○介護時間数は何時間ですか？

重度訪問介護で24時間ヘルパーを利用していて介護の支給決定は763時間決定されています。（入浴1日2人介助）

最近、希望の時間数を要望してもなかなか希望通りにはいかないと聞いています。ちなみに京都市の最高時間数は、直接、知っている訳じゃないですけど、多分、ALSの方だと1,000時間を超えてるじゃないかなと思います。J C I Lだと岡山さんもかなり多い感じですかね。

○一人暮らしをする中で工夫していることを教えてください。

どうしても、自分が言いにくい所や見えにくい所など、ある種ちょっと任せざるを得ないところもあったりして。台所周りがどんどん乱れてみたいなのがあるのですが、だから、なるべく場所を決めておいて定位置を決めておいて、基本的にはそこにまた戻してもらいたいな工夫というか、自分もそこに覚えやすいところにやって、コレはココって決めちゃってというのを意識してやっているつもりではないんですけど、それでもだんだん乱れていきますね。

○ヘルパーと関わる中で気をつけていることはありますか？

例えば、伝えにくい事に対して、それはやめてほしいとか、やってほしくない事があった時に、性格的にド直球で「やめてください！」って言えないタイプなんです。そういう時にヘルパーの使い方の工夫じゃないけど、次からこうしてもらえませんかみたいなね。次からでいいかなという感じで変更を求めてみるみたいな事とか、たまにしていますね。僕の場合は、多分、自分の中でこれくらい、いいやと思えるところと、やっぱこれはちょっと困るなというところがあります。ご愛敬程度で流す事もあるんですけど、これが続くと困るなということについては、やっぱり伝えるしかないですね。伝え方とかは結局、人それぞれなんだと思います。



おおやぶ あご つか でんどうくるま そうさ
大藪さんは顎を使って電動車いすを操作されています。

では、ここからは就 業 支 援^{しゅうぎょうし えん}についてお話を伺^{はなし}っていきたく^{うかが}と思います^{おも}。

○就 業 支 援^{しゅうぎょうし えん}を使ってどんな仕事^{つか し ごと}をしていますか？

相談支援^{そうだんし えん}の仕事^{し ごと}を本格的^{ほんかくてき}にやり始めた^{はじ}のは、去年^{きょねん}の夏^{なつ}からです。相談支援^{そうだんし えん}の仕事^{し ごと}の他^{ほか}には、筋ジス^{きん}病^{びょうどう}棟^{どう}オンライン交流^{こうりゅうかい}会^{かい}や地域移行支援^{ちいきこうし えん}にも関わ^{かか}っています。相談支援^{そうだんし えん}の業務^{ぎょうむ}としては、そこまで
そんなめっちゃ忙^{いそが}しいわけ^{わけ}ではないです。ケースは1件^{けん}持^もっています。

○就 業 支 援 制 度^{しゅうぎょうし えん せいど}は、利用^{りよう}を始めた^{はじ}のはいつですか？

重度障害者等就労支援特別事業^{じゅうどしょうがいしゃとうしゅうろうし えん とくべつじぎょう}を使い始めた^{つか はじ}のは、僕は去年^{ぼく きょねん}の春^{はる}から
です。僕^{ぼく}が住^すんでるのが向日市^{むこうし}という京都市^{きょうとし}の隣^{となり}の市^しなんです。
向日市^{むこうし}は、この事業^{じぎょう}を全然^{ぜんぜん}やってなかった^はんですね。京都市^{きょうとし}の方^{ほう}では
2021年^{ねん}ぐらいから始^{はじ}まった^{はじ}んですけど、同時期^{どうじき}ぐらいから向日市^{むこうし}にも
要望^{ようぼう}はしてて、事業^{じぎょう}を始^{はじ}めてほしいと、ずっと働^{はたら}きかけてきたのです
けど、全然^{ぜんぜん}話^わは進^{すす}まず、平行線^{へいこうせん}でや^やっと去年^{きょねん}の春^{はる}から始^{はじ}めてくれまし
た。だから、本当^{ほんとう}はもっと早^{はや}くから使^{つか}いたかった^{しゅうぎょうし えん}です。就 業 支 援^{しゅうぎょうし えん}に関
しては、やっぱりなかなか利用者^{りようしゃ}さんが他^{ほか}にいない^いって^いうようなこ
とがあ^あって、確^{たし}かに向日市内^{むこうし}では今^{いま}、就 業 支 援^{しゅうぎょうし えん}を使^{つか}ってるのは僕^{ぼく}
だけなんです。他^た団体^{だんたい}との連携^{れんけい}を、なかなか取^とりにく^くかったり、向日市^{むこうし}
の親^{おや}の会^{かい}の団体^{だんたい}の方^{ほう}が強^{つよ}くて、当事者^{とうじしゃ}団体^{だんたい}は、まあ本^{ほん}当^{とう}に向日市^{むこうし}にはない^いって^いう感^{かん}じそ^{じょうたい}んな状^{じょう}態^{たい}
で、向日市内^{むこうし}での情^{じょう}報^{ほう}共^{きょう}有^ぎとか連携^{れんけい}って^いうのはな^なかなか難^{むずか}しかった^{むこうし}んですけど、向日市^{むこうし}、
ながおか^{ながおか}京^{きょう}市^し、大^{だい}山^{さん}崎^{さき}町^{ちやう}が合^{ごう}同^{どう}で開^{かい}催^{さい}して^いる自^じ立^{りつ}支^{えん}援^{ぎやうぎ}協^{かい}議^ぎ会^{かい}が設^せ置^ちさ^せれ^まし^た。協^{きょう}議^ぎ会^{かい}に僕^{ぼく}が当^{とう}事^じ者^{しゃ}
い^いん^んとして入^{はい}って^いるの^ので、そ^そこで制^{せい}度^どの必^{ひつ}要^{よう}性^{せい}を訴^うえ^つつ、役^{やく}所^{しょ}の障^{しょう}害^{がい}支^し援^{えん}課^かの課^か長^{ちやう}と^とは、毎^{まい}年^{とし}、
毎^{まい}年^{とし}話^わし合^あい^いを^をし^しま^した。この制^{せい}度^どがな^ないと働^{はたら}け^ませ^んか^らね。
前^{まえ}ま^まではず^ずっと、J C I L^{じえいしーあいえる}の介^{かい}護^ご派^{はい}遣^{けん}事^じ業^{ぎやう}所^{しょ}が僕^{ぼく}が働^{はたら}いて^いる間^{かん}の介^{かい}護^ご者^{しゃ}へ^への給^{きゅう}料^{りやう}は全^{ぜん}部^ぶ負^ふ担^{たん}
し^てく^れて^いま^した。重^{じゅう}度^ど訪^{ほう}問^{もん}介^{かい}護^ごが就 業^{しゅうぎょう}に^には使^{つか}え^ない^いか^らか^かとい^いってボ^ぼラ^らン^んテ^てィ^いア^あで働^{はたら}いて
も^もら^らう^うわ^わけ^けに^には^はい^いか^かない^いか^ら。

今^{いま}は、向日市^{むこうし}で就 業 支 援^{しゅうぎょうし えん}の事^じ業^{ぎやう}が始^{はじ}ま^まって^てか^からは、向日市^{むこうし}と独^ど立^{りつ}行^{ぎやう}政^{せい}法^{ほう}人^{じん}高^{こう}齢^{れい}・障^{しょう}害^{がい}・求^{きゅう}職^{しよく}者^{しゃ}



雇^こ用^{よう}支^し援^{えん}機^き構^{こう}（略^{りやく}称^{しやう}：J E E D^で（ジード））から出^でて^てる
状^{じょう}態^{たい}です。向日市^{むこうし}は、な^なる^るべ^べく減^{げん}ら^らし^して^てほ^ほしい^いとめ^めち
ゃく^{あつ}ち^ちゃ^あ圧^{あつ}を^をか^かけ^けて^てく^くる^るの^ので、結^{けつ}局^{ぎよく}、今^{いま}は、職^{しよく}場^ば介^{かい}助^{じょ}に
80時^じ間^{かん}ぐ^ぐら^らい使^{つか}っ^てる^るん^んで^です^すけ^けど、20時^じ間^{かん}ぐ^ぐら^らい
む^むこ^{こう}う^しの^のこ^この^のじ^じかん^{かん}じ^じー^どほう^{ほう}せ^{せい}き^きゆう^{ゆう}
向日市^{むこうし}で、残^{ざん}り^り60時^じ間^{かん}ぐ^ぐら^らいはJ E E D^での方^{かた}に^に請^{せい}求^{きゅう}を
か^かけ^けて^てい^いる^る状^{じょう}態^{たい}に^にな^なっ^てい^いて、行^{ぎやう}政^{せい}が^しび^びが^がつ^つて^てい^いる^る感^{かん}じ
に^にな^なっ^てま^ます^すね。

○就 業 支 援 で 使 い に く い と こ ゝ や 使 い や す い と 思 う こ と を 教 え て く だ さ い。

良 かつ た こ と は、 や っ ぱ り J C I L の 負 担 が、 か な り 減 っ た っ て い う と こ ゝ で す ね。 自 分 が 働 く
と い う こ と は、 そ の 分、 J C I L に、 お 金 払 わ せ て い る み た い な。 そ う い う 気 持 ち も あ っ た の で、
結 構 プ レ ッ シ ャ ー じ ゃ な い で す け ど、 や っ ぱ り 頑 張 ら な い と な。 と 思 う こ と は あ り ま し た。 今 も そ
の 気 持 ち は あ り ま す (笑) 課 題 に つ い て は、 い ろ い ろ あ る な と 思 っ て い ま す。 一 つ は、 重 度 訪 問 介 護
の 事 業 所 と 就 業 支 援 の 事 業 所 が 異 な る 場 合 で す。 僕 の 場 合 は、 介 助 を ほ と ん ど J C I L の 介 護
派 遣 を 使 っ て い る か ら、 大 丈 夫 な ん で す け ど、 例 え ば 同 じ J C I L で 働 い て い る 当 事 者 ス タ ッ フ
は 結 構、 (就 業 支 援 を し て い な い) 他 事 業 所 の 重 度 訪 問 介 護 を 利 用 し て い る 人 が 多 い ん で す。 そ
う な る と、 い ろ い ろ 急 に 仕 事 が 入 っ た り し て、 重 度 訪 問 介 護 の ヘ ル パ ー の 時 間 帯 に 仕 事 を し な と
い け な い 時 に は、 請 求 で き な い と い う こ と が 課 題 だ と 思 い ま す。

○職 場 で の 介 助 者 へ の 指 示 出 し や、 仕 事 中 に 介 助 が い て 良 かつ た こ と に つ い て

自 分 の パ ソ コ ン で 作 業 し て い る こ と が 割 と 多 い の で、 オ ン と オ フ の 切 り 替 え じ ゃ な い け ど、 仕 事 じ
ゃ な い 時 間 帯 で は 結 構 ラ フ に 喋 っ た り し ま す ね。 普 段 か ら の 人 間 関 係 と い う か、 ど う し て も 喋 っ
て い る こ と が 多 い の で、 い ろ い ろ な 話 を し な が ら お 互 い の 関 係 を 作 っ て い く み た い な と こ ゝ が 僕
は う ま く い っ て る と 思 い ま す。 あ ま り に も 関 係 性 が 近 づ き す ぎ る の も や っ ぱ り 良 く な い と 思 っ て、
友 達 み た い に な っ た り し た ら お か し い と 思 う し。 難 し
い で す け ど、 気 ま ず かつ た り と か も し ま す ね。 そ こ の
距 離 感 は 図 り な が ら や っ て る と こ ゝ が あ り ま す。
仕 事 に 職 場 介 助 者 が い て く れ て こ そ、 仕 事 が 出 来 て い
る と い う こ と は 間 違 い な い の で、 や っ ぱ り 制 度 が 使 え
る よ う に な っ て よ かつ た と 本 当 に 思 い ま す ね。 ち ょ っ
と 疲 れ た ら 休 憩 も で き る し 身 体 の 体 勢 も 直 し て く れ ま
す。 そ れ は 職 場 介 助 者 が あ っ て こ そ だ と 思 い ま す。



~~~~~  
お お や ぶ 大 藪 さ ん の お 話 を 聞 い て、 障 害 者 も 健 常 者 と 同 じ よ う に 仕 事 が 出 来 る よ う に な っ て き た ん だ な と  
あ ら た 改 め て 実 感 し ま し た。 考 え て み た ら 当 た り 前 の こ と で、 今 ま で 出 来 て こ な かつ た の が 不 思 議 な く  
ら い。 ま だ ま だ 制 度 が 整 っ て い な かつ た り、 地 域 間 格 差 が あ る か も し れ ま せ ん が、 ど ん ど ん 制 度 を  
か つ よ う 活 用 し て い か な い と 「 も う こ の 制 度 要 ら な い ん だ な。 」 と 行 政 が 勘 違 い し て し ま う 可 能 性 が あ る よ  
う に 思 い ま し た。 み な さ ん の 周 り で も 「 こ の 制 度 使 え る よ。 」 な ど お 互 い 情 報 共 有 し て い き な が  
ら、 よ り よ い 制 度 を 全 国 の み な さ ん と 作 る こ と が で き た ら 良 い な と 思 い ま し た。 ( 山 下 )

み せ し ょ う か い

# おすすめのお店紹介します！

てん めい さくらこーひー な が いこうえんてん  
店 名: 桜珈琲 長居公園店

じゅう しょ おおさかしひがしすみよしくな が いこうえん  
住 所: 〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-1

えいぎょうじ か ん  
営業時間: 8:00~22:00 (L.O.21:30)

おくがい う ば  
※屋外テイクアウト売り場10:00~18:00 まで

ねんまつ ねんし じ た ん えいぎょう  
年末年始は時短営業

さだむ きゅう び ねんじゅうむきゅう がんじつ やす  
定 休 日: 年中無休(元日のみ休み)

でんわばんごう  
電話番号: 06-6654-3940



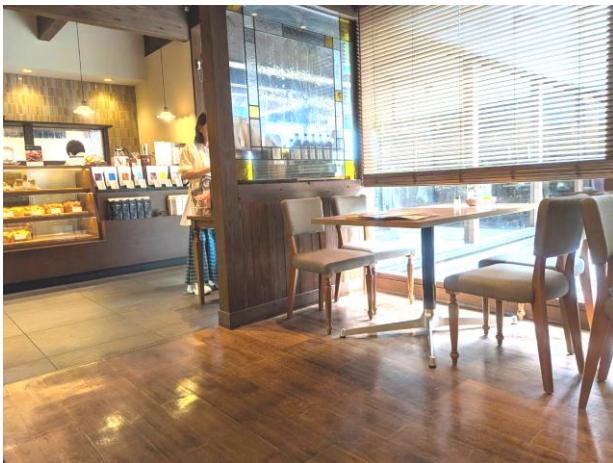
こんかい おおさかしひがしすみよしく さくらこーひー な が いこうえんてん しょうかい ことし はる らいてん と き にちようび  
今回は大阪市東住吉区にある桜珈琲 長居公園店を紹介しします。今年の春に来店した時は日曜日  
ということもありまんせき じゅう しょ おおさかしひがしすみよしくな が いこうえん  
ということもあり満席でした。すごく人気のあるお店です。いろんな場所に店舗があります。僕の  
実家(大阪府岸和田市)の近くにもあります。今回は食べていませんが、食パンもいろんな種類が  
あっておいしいです。おすすめです。調査をした時は、朝早い時間だったということもあり比較的、  
お店は空いていました。ラッキーでした。







入り口には幅の広いスロープもあり車いすなどがユーザーが通りやすいようになっています。また、点字ブロックも敷かれていました。



カウンター2席と2人掛けのテーブル席が3席、4人掛けのテーブル席1席ありました。店内は広く、車いすの人の利用はありますか？と聞いてみると「車いすの人が3名来られる時もあり、その時は机を繋げて対応させてもらっています。」と店員さんが言っていました。

近くには長居植物園や大阪市長居障がい者スポーツセンターもあります。お花を観た帰りやスポーツした後に、みなさんも、ぜひ桜珈琲 長居公園店へ行ってみてください。

(文責) 山下

令和8年熊本地震で被災された皆さまにお見舞い申し上げます。1日でも早い復旧・復興を願っています。

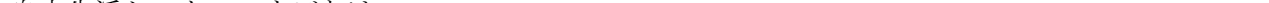
最近、編集後記では自然災害や気候のことを書くことが多かったように思います。暑さ対策として

今年から取り入れたのが、専用のタオルを水で濡らして腕に当てたり首に巻いたりしています。これが

意外と効果があるなと思います、外出する時は、いつも持ち歩くようにしています。みなさんも熱中症対策

を、しっかりして、くれぐれも体調を崩さないようにお過ごしください。【やました】

けいさい      さい      かくきかく      と      あ      とう      ちよくせつ      かくだんたい      ねが      とう  
 掲載する際、各企画のお問い合わせは当センターではなく、直接、各団体をお願いいたします。当セ  
 ンターにお問い合わせいただきましても、お答えいたしかねますので、ご了承ください。



じり つせいかつ  
自立生活センター・ナビとは…

働いてお金を稼ぐ事や身の回りのことを全部自分で出来るようになる事、それだけが「自立」でしょうか？もちろんそれも大切なことですが、できない事は人の手を借りたり、気持ちを上手く伝えられないときには仲間をサポートしてもらったりしながら、一人一人の生活を創っていくことも「自立」であり、色々な方法でお手伝いしていきたいと考えています。

☆地域で障害者の自立を実現していくための「道案内（ナビゲーター）」として、例えば「介護してくれの人を探しているんだけど？」「家の中をもっと使いやすくしたいけどどうすればいいの？」そして「自立したいけど自分には無理かな？」自立生活センター・ナビでは、こうした障害者や家族の悩みや相談について、障害を持つピアカウンセラーが同じ障害者の立場でお話を伺い、制度の説明や申請のお手伝い、住宅改造などのアドバイスをさせていただきます。その他、電動車いすで街へ出かけたり仲間と一緒に料理を作ったり地域で生活していく上で必要なことを、楽しみながら経験できる「自立生活プログラム」や、自立生活に関わる各分野の方々をお招きしてお話を伺う「自立生活セミナー」の開催、情報誌「ナビゲーション」の発行も行っています。

[illegible]

でんわ 06 (6760) 2671

住所 〒546-0042 大阪市東住吉区西今川2-3-8 ファックス 06 (6760) 2672



## にっちゅうかつどうれんらくかいこうりゅう 日中活動連絡会交流

## さぎょうしょほうもんき ～ぐっすら作業所訪問記～

しょうだいれん にっちゅうかつどうれんらくかい かつどう  
障大連の日中活動連絡会の活動として、  
たんだんどうし いっしょに ランチを食べて交流し  
よう！という企画を 6月11日(木)に行いま  
した。今回は私たち《ちゅうぶ》の赤おに・青お  
に ぎょうしょのメンバーが《いこらー》のぐっすら  
ぎょうしょ(以下ぐっすら)に訪問しました。  
ぐっすらはマンションの 1階にあり、隣に自立  
せいカツ生活センター・いこらーとヘルプセンター・い  
こらーの事務所があります。



ちゅうぶのメンバーは 10時ごろになんば駅を  
しゅつぱつ 出発して、ぐっすらの最寄りの南海電車本線  
はるきえき 春木駅に向かいました。春木駅に到着すると、ぐっすらのメンバーとスタッフが  
おむかえ 出迎えをしてくれました。駅から  
ぐっすらまでの道は狭く、大通りに出ると歩道がありますが、その歩道もデコボコしている  
しょうしょうはし 少々走りにくいです。

みち 道の途中で、ぐっすらの皆さんに紹介してもらった弁当屋「そが屋のべんとう」に寄り、ちゅうしょく 昼食を  
こうにゅう 購入しました。



ぐっすらぎょうしょに到着後、簡単に自己紹介をして、みんなで会話しながらランチをしました。  
しょくご 食後に、ぐっすらの活動をスライドで紹介してもらいました。ちゅうぶのメンバー・スタッフから「(ぐっすらのスタ  
ッフに)まえのしごとは何ですか？」という質問をしたところ、福祉以外の職種から転職してきたひとがおお  
かったです。その他「活動内容をどのように決めるのか」「発語がないメンバーへの支援方法」などをお聞きました。



ぐっすらの大きな活動として、登山があると聞きました。この活動は、ぐっすらなどの障害者団体などと、まだ関係が作れていない障害者に声をかけて一緒に登山するという活動です。またたくさん人手がいるのでボランティアや学生にも声をかけて集めているそうです。ちゅうぶのメンバーからは「私たちもしてみたい」という声がありました。



また、ぐっすらで今度USJに行くということを聞いたので、ちゅうぶのUSJ調査についても紹介し、また今度一緒に行きましょうという話をしました。

そんな話をしているとあっという間に帰る時間になり、最後にぐっすらの前で集合写真を撮りました。

帰り道、参加者同士で喋っているなかで、

- ・「海が近いからすぐ海に行けていいな」
  - ・「ちゅうぶとは、スタッフとメンバーの接し方が違ったな」
  - ・「重度・軽度の障害者が同じ空間で過ごしていてメンバー同士のストレスはないのかな？」
- などの感想がありました。

交流に行ってそれぞれに発見や気づきがあり、感想や疑問を語り合い、非常に実りのある交流会となりました。ぐっすら作業所の皆さん、ありがとうございました。（文責・渡海）





# すずきゆうき ～鈴木勇希プレゼンツ～

## ちよっといいランチ第一弾！！～中華編～

今回の企画の発端は、、通所仲間の鈴木勇希君がコースの料理を食べた事がなくて、食べてみたい。という話を聞いて企画しました！！

すてっぴで働いている職員のお父様が料理長を務める、道頓堀ホテルでの本格中華コース！！

僕も行く前から楽しみにしていて、当日は朝の5時に自覚めるほどでした。

事前に人数と金額など予約していたのですが、当日体調不良のメンバーがキャンセルになってしまったり予約時間がズレたりと、朝からバタバタしましたが当日キャンセルの電話の時もホテルの方の対応がとても親切でした。

そんなこんなで、いざ！道頓堀ホテルへ！！ホテル到着後エレベーターで二階へ。エレベーターは二基あってスムーズに上がれました。部屋は完全個室でスタッフが一人担当してくれたうえにステージやマイクなどもあって広くて感動しました。





↓ ここからは皆<sup>みんな</sup>の感想<sup>かんそう</sup>です

鈴木九聖さん➡ 料理<sup>りょうり</sup>がどれもおいしかったです。ふだん<sup>ふだん</sup>食べない料理<sup>りょうり</sup>も食べることができて、うれしかったです。とても楽しい時間<sup>たのしいじかん</sup>でした。

鈴木勇希さん➡ 初めて中華屋<sup>ちゅうかや</sup>さんのコース料理<sup>りょうり</sup>を食べました、初めて食べたものが多くて、とても美味しく楽しかったです！また行きたいと思いました。

中村哲雄さん➡ 中華<sup>ちゅうか</sup>のフルコースは初めてだったから、どんな料理<sup>りょうり</sup>が出てくるか楽しみだった！北京ダックは初<sup>はつ</sup>だったから、アヒル<sup>あひる</sup>って聞いてへえ〜と心<sup>こころ</sup>の中で思った。パン？と一緒に<sup>いっしょに</sup>食べてタレ<sup>たれ</sup>も丁度<sup>ちやうど</sup>いい感じで美味<sup>おい</sup>しかったです。通所<sup>つうしよ</sup>で行ってなかったら、ビール<sup>びーる</sup>を頼<sup>たの</sup>んだと思う。垂れ幕<sup>たれまく</sup>も嬉<sup>うれ</sup>しかった。中彌<sup>なかや</sup>くんのお父<sup>とう</sup>さん「唐揚げ<sup>からあげ</sup>」もありがとうございました！楽しい時間<sup>たのしいじかん</sup>でした ✨

中野弓子さん➡ みんなでワイワイできて良<sup>よ</sup>かった。酢豚<sup>すぶた</sup>や唐揚げ<sup>からあげ</sup>もザク<sup>ざく</sup>つとして美味<sup>おい</sup>しかったです。中彌<sup>なかや</sup>くんのお父<sup>とう</sup>さんのお店<sup>みせ</sup>に行<sup>い</sup>けて良<sup>よ</sup>かった。

杵島<sup>すきしま</sup>➡ 昔<sup>むかし</sup>に行<sup>い</sup>った中華<sup>ちゅうか</sup>バイキングより満足度<sup>まんぞくど</sup>が高<sup>たか</sup>かった！  
フカヒレあんかけチャーハンや北京ダック<sup>べきんダック</sup>が美味<sup>おい</sup>しくて、店員<sup>てんいん</sup>さんも親切<sup>しんせつていねい</sup>丁寧<sup>ていねい</sup>で嬉<sup>うれ</sup>しかったです！

最後に、、、次回<sup>じかい</sup>はメンバーとイタリアンのコース料理<sup>りょうり</sup>を食べ<sup>た</sup>に行<sup>い</sup>きたいです！！ (文責<sup>ぶんせき</sup>:赤<sup>あか</sup>おに杵島<sup>すきしま</sup>)



# いまむら 今村 ケーゴの楽しいランチタイム

～でんどうくるまいす 電動自転車でもオシャレな店に行きたい～

こまがわしょうてんがい ちか 駒川商店街の近くにある洋食屋さん、  
「洋食のラペ」に行ってきました。

このお店はSNSで見つけて、「スロープがある」という  
投稿が気になったのがきっかけです。

でんどうくるまいす 電動自転車でも行けるのか、念のため電話で予約。  
すると、ほかのお客さんの予約がある中でも「大丈夫です  
よ」と 快く対応してもらえました。



この一言だけでも、行きやすさのハードルがぐっと下がります。

実際に行ってみると、外観はとてもオシャレで思わず入りたくなる雰囲気。店内は広いとは言えませんが、  
でんどうくるまいす 電動自転車1台なら問題なく入店できました。ただ、ヘルパーと横並びになると通路が少し狭くなるので、  
周りへの配慮は必要です。それでも「入れる」というのは大きなポイントです。





このお店の名物は、ずわい蟹のクリームコロッケ。

今回はその定食を注文。

一口食べると、外はサクッと軽やかで、中はトロっと濃厚なクリーム。ずわい蟹の旨みがしっかり感じられて、思わず「これは当たり」と感じる美味しさでした。



一緒に行ったヘルパーは、

クリームコロッケ・ハンバーグ・エビフライが一皿に乗った豪華な定食を注文。特にエビフライは大きくてインパクト抜群。さらにドリンクまで付いていて、見た目も味も満足度の高い一皿でした。

ちょっと贅沢したい日のランチにぴったり

「電動車椅子でもオシャレな店に行きたい」そんな気持ちにしっかり応えてくれるお店でした。

また行きたいと思える

やさしさと美味しさが詰まった洋食屋さんです。

長屋の一角にあります。→

是非、皆さんも行ってみてください。

(文責: 赤おに今村)

<洋食のラペ>

住所

大阪府大阪市東住吉区東田辺3丁目18-12





# き ど みち お へ や 木戸通雄の部屋

がつごう  
～8月号～



き ど みち お へ や  
木戸通雄の部屋

どん底…崖っぷちのミッチー…転落人生…波乱万丈…神様はそこにいた

っ!!



(幼稚園の年長組5歳からゼンソクの心臓発作があり、小中学校義務教育9年間、イジメられっことして全校生徒に知られる存在だった。定時制高校に行ってもイジメられた。昼間の職場でもイジメがあり人間関係で苦労した。小学校の頃から別居などもあり父親とは中々会えなかった。)※考えるようにいかないのが人生だろう。占い師が言うには誰でも平坦な道を歩んでいない。

☆木戸さんの考え方はあまり良いとは言えないが世の中全て金だろう。アリストテレスが『万物は水と鉄からできている』と言ったなら木戸も言いたい。『世の中全て金だろう』

話は変わるが8月のちゅうぶ通信に兵庫県須磨海水浴場の写真と記事を書いたかったんですが作業所の海レクが7月31日(金)であったため、ちゅうぶ通信の原稿の締め切りに間に合わず載せることができません。読者の皆さんどうもすいません。悪しからずご了承ください。

左の写真は今年の1月19日(月)姫島神社(やりなおし神社)に秋山さんといってきた時の写真です。私は占いで『10代20代は何を努力しても到達できずにアカンッ!!』と言われてきました。あと人生25年あるとして自分自身、木戸は63歳からスタートして、やり直ししていきたいです。そのためには、去年見てもらったら『色んな女の人と積極的にしゃべっていく事。それと良い事に、62歳の時に占いで言われたのは結婚の守護神が応援している。』とアドバイスされとてもラッキーでした。今年の9月にも立石さんと一緒に、天神橋筋商店街にある消費税込み1100円の手相占いにいけたらいいのになあ。その頃の懐事情にもよるが……。木戸が22歳の時に、2件霊視で見てもらい『心配せんでも66歳で結婚できて子どもは残念ながら娘が1人しかできない。』と言われた。四柱推命では『結婚したら阿倍野区文の里三明町に住む。』と言われた。

●3か月と13日遅れの誕生日(※本当の木戸の誕生日は3月7日)

※コレは木戸が何で俺だけ作業所で誕生日祝ってもらわれへんねん!とヤキモチから疑問にいたり、同年の立石さんと二人だけの月遅れ(3か月と13日遅れ)の誕生日をしました。(※左の写真はAM11時半に予約の立石さんと一緒にいった難波の焼肉店)





☆ヤキモチがヤキ肉に変わった瞬間でした。6月20日(土)難波で焼肉90分食べ放題、ちなみに一人2000円ちょっとでした。アベノのアポロビルで以前食べた店は焼肉食べ放題5000円だった。余談ですが高市早苗総理大臣にお願いしたい。政治家の先生もしんどいようですが、今年もあと4か月で来年、令和9年になる。新年の年頭にあたり日本の国の経済安定のため物価をもう少し下げてほしい。木戸さんはあまり良いカッコではないが、陸上自衛隊の寮の中ではハミゴやイジメを受けた。あまり人に好かれたいのだろうか？ドン底から這い上がってきた。生きて生きて生きてやるうう！！



●7月6日(月)、この日は新世界市場商店街の店には入らず、新世界のくら寿司に入った。1皿130円の寿司を6皿食べた。赤貝をあ〜んと、つまんだ。帰りは動物園前からチョツとの距離だったが、タイミング良く市バスが来て、あべの橋まで乗った。あべの地下街で天王寺自衛隊案内所の前で、自衛官のイラストと並んで『ハイ！敬礼！！』

令和8年7月15日水曜日現在、プロ野球はセは阪神が1位、パはソフトバンクが1位！！また今年も8月5日から甲子園球場で第108回を迎える全国高等学校野球選手権大会が開催される。もう各地で予選は始まっている。天理高校は今年甲子園に帰ってくるのだろうか？強豪の横浜高校は？木戸のお父さんの実家の敦賀気比は？木戸が一番気になっているのは大阪の代表校。果たして箕面学園が粘りの野球で甲子園初出場か？大阪の強豪、履正社か？読者と甲子園に出場する高校球児に言っておきたい。勝っても負けても悔いのない全力プレーで一戦一戦を大切にしてほしい。青春時代は一回しかない。甲子園に出場できる喜びと予選で姿を消した人たちの悔しさと自分たちの誇りを胸に頑張ってください！！次回9月号もこうご期待！！(文責：木戸)





# 正職員 ・ ヘルパー スタッフ募集中！

## 「200 万回の選択。」を実現するために

人は、1 日におよそ 70 回の選択と決定を繰り返していると言われています。

朝起きる時間、出掛ける場所、どんな服を着て、何を食べて、何をして誰と過ごすのか。

83 年という平均寿命では、一生でおよそ 200 万回。

でも、これは健常者だった場合の数字。障害者の場合はどうだろう？

わたしたちは、生活の中で様々なことに制限がかけられる障害者でも、

「200 万回の選択。」を実現できる社会づくりを目指しています。

“障害があっても、人の力を借りて自己選択・自己決定すること”

わたしたちの考える大きな「自立」のかたちを確かに実現していくために。

ぜひいっしょに、働いてみませんか？ お待ちしています！



(事業内容&スタッフインタビュー) (応募フォーム(正職員))



ヘルパー応募についても

お気軽にお問合せください！

★1,350 円/h～

★11,200 円/泊(23:00-翌 7:00)

※講座修了後の金額です。

〔NPO 法人ちゅうぶ〕 Tel:06-4703-3740



# ?ちゅうぶで働くって、どんな感じ?



「200万回の選択。」を実現するちゅうぶで働く人もまた、様々な人生の選択を繰り返しています。

どんな想いをもって日々働いているのか?

ちゅうぶとの出会いや一日の流れを、各部門で活躍するスタッフにインタビュー!  
左ページのQRコードからぜひご覧ください!



「変えなきゃいけない」  
社会を知り、自分らしく  
頑張るという選択。

重原 和樹さんの働き方

2019年入社



「やりたい」気持ちが  
大事にされる環境で、尊敬できる  
人たちと働き続ける選択。

西 由姫さんの働き方

2014年入社



ライフステージの  
変化を法人と共に。  
仕事も家族も大事にする選択。

畑村 一輝さんの働き方

2015年入社



ちゅうぶで起こる  
“特別”な光景を、世の中の  
“普通”に変えていくという選択。

小八重 央さんの働き方

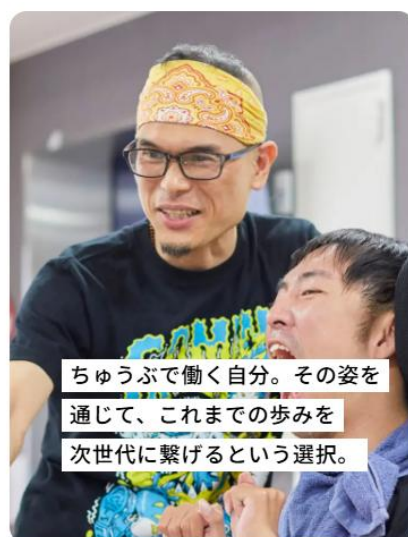
2012年入社



障害者も、自分自身も。  
人との関わりを通じて、  
生き方に広がりをもつ選択。

齊城 桃果さんの働き方

2021年入社



ちゅうぶで働く自分。その姿を  
通じて、これまでの歩みを  
次世代に繋げるという選択。

富田 譲治さんの働き方

1999年入社



きょうりよく か い ひ

きょうりよくしゃめ い ぼ

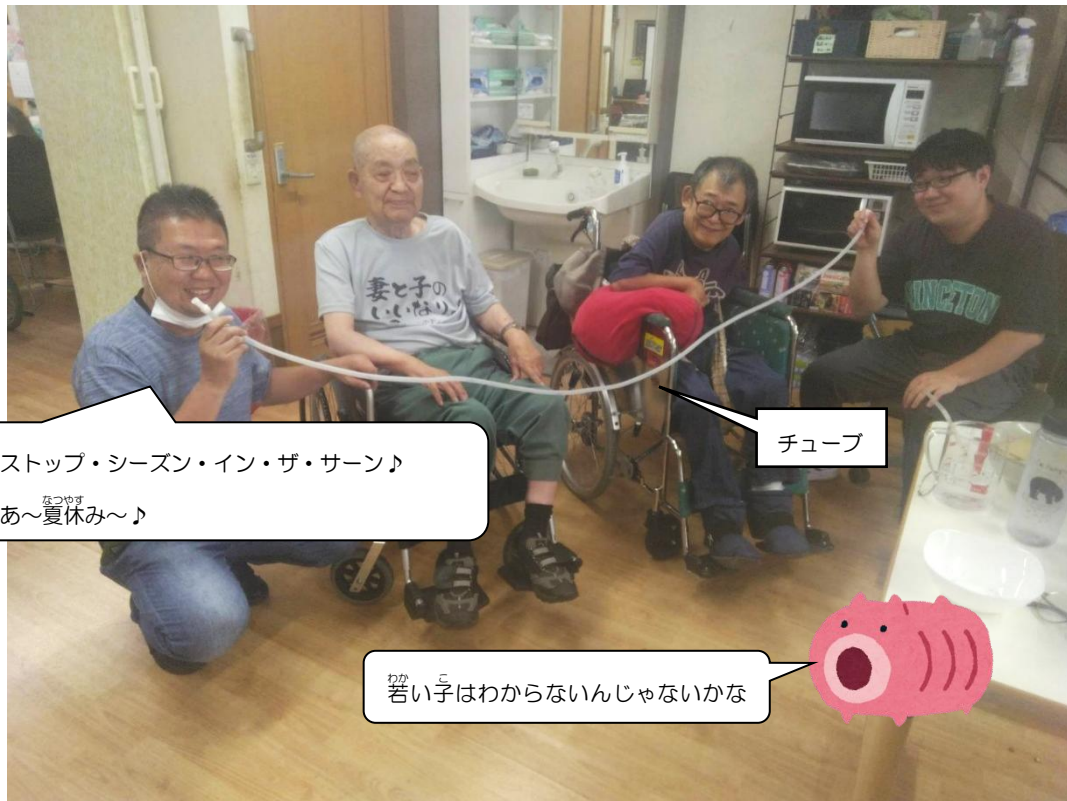
# 協力会費・カンパ協力者名簿

|                    |                 |                        |                 |
|--------------------|-----------------|------------------------|-----------------|
| たかい たけし<br>高井 毅 さん | いずみし<br>(和泉市)   | さの よしみつ<br>佐野 欣満 さん    | とうきょうと<br>(東京都) |
| ふじの ゆき<br>藤野 幸 さん  | ひょうごけん<br>(兵庫県) | いそざき しやういち<br>磯崎 章一 さん | みやこじまく<br>(都島区) |

8月1日現在

ご協力ありがとうございました(担当:安東)

「♪チューブと言えば夏でしょ♪、いや、ちゅうぶは春夏秋冬、ずっと熱いよ!!」



赤おにくん:

「キミの故郷は、鬼ヶ島だったね、帰省するの?」

青おにくん:

「帰る度に親から、鬼嫁はまだもらわないのか? って言われたり、地元のダチから鬼の首取ったみたいに自慢されるのもあるな。」

赤おにくん:

「ボク転職 ばかりしてるしなあ、閻魔さまとも雷 様ともうまくいかなかったし、無限 城 でのパワハラにもうんざりだったし。」

でも、今の勤務先のちゅうぶは、熱い気持ちを持ってる人たちがかりだし、親も喜んでくれると思うわ。お土産の大阪名物雷 おこしも買ったし、ボクは帰省するよ。」

スイカくん:

「帰省する人もしない人も熱中症 には注意して、お盆休みをお過ごしくださいね。」



| 2026年8月～10月スケジュール |   |                                                        |
|-------------------|---|--------------------------------------------------------|
| 8月20日             | 木 | 障大連大阪府オールラウンド交渉10:15集合【教育保育・権利の実現・交通まちづくり】@住之江区民センター   |
| 8月21日             | 金 | 障大連大阪府オールラウンド交渉9:30集合【施策全般・グループホーム・地域移行地域生活】@住之江区民センター |
| 9月1日              | 火 | ～3日(木)ちゅうぶ重度訪問介護講座 @四天王寺大学(羽曳野市)                       |
| 9月7日              | 月 | ～10日(木)韓国光州市CILナナム訪問(夢田 & ちゅうぶ合同チームによる訪問交流)            |
| 10月3日             | 土 | 4日(日)ボムハウス喀痰吸引等(3号)講習 @ちゅうぶ                            |
| 10月10日            | 土 | なんばおにごっこ2026 10時半～なんばカーニバルモール集合(8回目のなんばおにごっこ)          |

●7月28日(火)16:27、熊本県宇城市、氷川町を震源とする震度7、マグニチュード7.1の地震が起きた。25日(土)には震災での障害者支援を行うゆめ風基金の特別シンポで東北(福島)、能登とならんで熊本地震の報告を聞いたばかりだった。連日35度を超え日によっては40度にもなる猛暑での地震は初となる。夜もエアコンが必要で多くの人が車中泊となっているが、ガソリン切れでエアコンの効かない車中泊での死者も出はじめています。10年前震源だった益城町や阿蘇町、熊本市での被害は少なそうだが、災害時に被災地の体育館などが避難所になり、1週間近くたっても布団は段ボール、食べるのは菓子パン中心という厳しさは改善されていない。被災者にこそ快適なベッド(布団)と美味しい食事を提供する国の仕組みが急がれる。私たちにできることも考えたい。連日の猛暑の中、今年も海レクで須磨へ。毎年思うが、海・砂浜は風もあり意外と涼しく快適。駅や街に近づくともっとした暑さが襲ってくる。今年は夏のマラソン(トレラン)が台風の影響で山が崩れたり中止にもなり、体力低下の中、次を考えている。(いしだ)

●今月号掲載の「なんばおにごっこ」のチラシはご覧いただけましたでしょうか。2024年から今回で3回目、デザインを担当しました。サブタイトルは「バリア・ほった～と秘密のトイレ」。今回は某有名映画のパロディで登場するキャラクターは通所メンバーや職員がモデルです。写真をもとにAⅠを活用しキャラクターをつくり、組み合わせせて仕上げました。ですが、これがなかなか思い通りにいかず…。AⅠに意図が伝わらなかったり(伝えきれてない?)、アイデアがまとまらない、構成をやり直す…遊びに来てほしいチラシなのに、自らの遊び心の足りなさも痛感。なので、これまでで一番時間がかかっています。そんな紆余曲折を経て完成し、みなさまにお届けできることを嬉しく思います。チラシはあくまでイベントの入口です。『なんばおにごっこ』開催は10月10日(土)。ぜひこの世界を現地で体験しに来てください!(うらかた)

●韓国光州への研修行きが決まり、事前学習会の担当を任されることになりました。数年前に観た映画がきっかけで韓国の民主化運動について知りましたが、人にわかりやすく説明するには知識が足りないと思い、いくつか資料を揃えました。その中に、韓国の高校生向けの教材を邦訳したのがあります。易しくわかりやすい文章で歴史や民主化運動を知れるだけでなく、民主主義の価値とそれを守るために社会がどうあるべきかを考える仕掛けが随所に散りばめられていました。これを読んで、私は韓国の高校生を羨ましく思いました。10代から民主主義と人権について考える場が確立されていることに、日本の学校教育との差を感じたのです。それと同時に、韓国の人々にとってそれほど民主的な社会を守ることは難しいのだとも感じました。しかし考えてみれば、そもそも民主主義は脆いものなのかもしれません。いつ制限をかけられ、奪われてしまってもおかしくない(しかもわかりにくいところからじわじわと奪われる)ものだからこそ、守るために努力しなければならぬのだと思います。そう至って改めて、日本の民主主義はどうだろう。そのことをずっと考えています。(おくやま)

【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】  
【自立生活センター・ナビ】  
〒546-0042 東住吉区 西今川 2-3-8  
でんわ = 06 (6760) 2671  
ファックス = 06 (6760) 2672



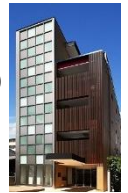
【障害者活動センター 赤おに】  
〒546-0031 東住吉区 田辺 5-6-10  
でんわ = 06 (6623) 7300  
ファックス = 06 (6657) 5010

【グループホーム・リオ】  
〒546-0032 東住吉区 東田辺  
2-21-21  
でんわ&ファックス  
= 06 (6608) 5244

【ヘルプセンター・すてっぷ】  
NPO法人ちゅうぶ 2階  
でんわ = 06 (4703) 3741  
ファックス = 06 (6628) 0271

【障害者活動センター 青おに】  
NPO法人ちゅうぶ 1階  
でんわ = 06 (4703) 3742  
ファックス = 06 (4703) 3743

へんしゅう  
編集：特定非営利活動法人  
エヌピーオー  
【NPO法人 ちゅうぶ】



〒546-0031  
おおさかしひがしすみよしたなべ  
大阪市東住吉区田辺5-5-20  
でんわ=06 (4703) 3740  
FAX=06 (6628) 0271

ホームページ=https://npochubu.com/  
メールアドレス=chubu@npochubu.com  
ゆうびんふりこみこうご  
郵便振込口座：00960-6-313427  
つうしん ていきこうどくりょう  
通信 定期購読料＝1年間2,000円